



「五重塔、ブルーライトアップ」  
四季の部 銀賞 日野市 設楽 誠一



## 防災の日におもう

別格本山高幡山金剛寺 貴主 杉 田 純 一

九月一日は防災の日です。この日は十万人以上の死者を出した大正十二年の関東大震災が発生した日であり、またこの頃が台風が多いとされる立春から二百十日にあたることにより、「災害への備えを怠ることなく、災害の未然防止と被害の軽減につとめるべく」、昭和三十五年に防災の日が制定されました。

この防災の日を迎えると、私は大正元年生まれの亡き母のことを思い出します。母は生家があった赤坂（現在の東京都港区）で関東大震災に遭い、その体験からか、こと地震に対しては敏感に反応していたことをみていた私は、子供ながらに本当に恐ろしい地震だったのだとよく思つたものでした。

関東大震災後の日本では、台風や大雨による水害や土砂崩れ、地震やそれにともなう津波、火山の噴火等、多くの災害がありました。「天災は忘れた頃にやってくる」とよく言つたものですが、特に近年は忘れる間もなく、毎年各地で災害が以前に比べて頻繁におきていると感じているのは、私だけではないはずです。

私が小さい頃、高幡から八王子市の北野までの尾根伝いにハイキングコースがあり、途中には簡素な遊び場、小さな動物園、それから茶店もあったように記憶しています。それから五十年以上の時を経た現在、それらの施設はどうに無く、ハイキングコースがあつた山は宅地の造成、道路の整備等で寸断されて見る影もありません。一方、人の手が入らなくなつた山林は荒廃が目立つようになります。自然と人の営みとのバランスが崩れて久しいようです。

また世界では、未だコロナウイルスの収束が見えず、日本でも緊急事態が続いています。自然災害とコロナウイルス、与えられたこれらの問題を克服することが明日への一歩であり、私たち一人一人が自覚し乗り越えて行かなればなりません。

## 疫病退散大護摩供毎座勤修

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々の快復と一刻も早い終息を祈念しております。

# お不動さまの心——(一四) 現代の世相から(74) 廣澤 隆

寺の住持をしていると亡くなつた人と関わるさまざまな人間の生き方を教えられます。

最近、高齢で亡くなつた女性の納骨が行われました。その女性の働き盛りの三人の娘さんが協力し合つて墓地を守るとの思いを受けとめ、私も納骨の儀式に臨みました。いよいよ墓が開けられ、お骨が墓地に納められました。すると娘さんの一人が突然スマートフォンを取り出し墓地の中を撮影しようとしました。出産のことでのことで、私

も熟慮する間もなく写真に撮ることを控え、お母さんのお骨の場所をどうかしつかりと心に留めてくださいとお願いしました。彼女なりの思いがあつたのでしようが、祈りの心に結びつかないようと思えました。

以前には葬儀が終わり最後のお別れで、棺に顔を寄せあって記念写真を撮る家族にも出会いました。また納棺から通夜・葬儀までの間に亡くなつた人を撮影し続ける親族もいました。その理由を聞くと、思い出のため

に記録しておくのだということでした。

デジタルカメラやスマートフォンの普及によつて、このように写真撮影が簡単に行われるようになると、亡くなつた人との心の結びつきまで写真の画像に頼つてしまふような気がします。思い出が小さなスマートフォンの機器の中に閉じ込められているかと思うとやるせない気分になるのは私だけでしょうか。このようなことを考えていると、かつての記憶が蘇つてしまふ。

終えてから庫裏の居間の仏壇に両親が亡くなつて間もない頃のことです。それまでは両親と若くして亡くなつた義姉の小さな写真を仏壇に飾つておきました。しかし毎日位牌に手を合わせ、故人との心の結びを記憶のなかで深めるためには、写真がないほうがよいことに気づきました。写真があると、その写真のイメージが心を支配しがちになります。父や母の思

い出は一枚の写真に固定できるものではありません。長く共にした生活の中で無数に思い出があります。それは私をとても愛してくれた義姉にもいえることです。

ある日、思い切って両親と義姉の写真を仏壇から除いてみました。するとその時々の私の思ふた。した。するも重なつて、両親や義姉との結びつきが深くなり、落ち着いた気分になれました。それ以来我が家の仏壇にはいくつもの位

てそこには土門拳の貧しい人生で生きる人たちへの共感があるように思えました。

私たちがデジタルカメラやスマートフォンで気軽に撮る写真には眞実が写し出されているの

A vertical scroll painting of a Buddhist monk standing on a lotus flower. The monk is wearing a light-colored robe over a dark one, with a red shawl draped over his left shoulder. He holds a long staff in his right hand and a small object in his left. A large, golden circular halo surrounds his head, and a small figure is visible within it.

地藏菩薩像・江戸時代  
(伝 田 公室筆)

を忘れてしまった現代の風潮が葬儀の場にも広まっていることに心が痛みます。

（伝）私たちは合掌し、仏さまの前で頭を垂れ、仏さまの慈悲に満ちた救いの力に思いをゆだね、どうにもならない苦しみの現実を受けとめのです。この祈りの世界が私たちの日常生活で忘れられる心はすさんでしまいます。

澤隆之先生のプロフィール  
大正大学名誉教授  
淨福寺住職

と同世代と思われる子供たちが貧しい中で輝くような笑顔を浮かべている写真は炭鉱の町筑豊でそこには生きる人がどの程実を

いただいて故人の靈が安らかに  
なることを願うのです。ところ  
がこのような祈りの意義が見失  
われ、仏さまの像がなくとも氣  
にならず、写真に向かい合うの  
はどうも納得がゆきません。

# ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。  
(敬称をすべて省略させていただきます)

## 境内整備绿化資金 寄進者芳名

(令和三年五月一日～七月三十一日)

二本	日野市	増茂典雄
八王子市	木下義徳	
八王子市	木下良子	
横浜市	村松二朗	
横浜市	村松卓峰	
相模原市	秋山直子	
相模原市	水希	
富士吉田市	加々美和美	

## 幟旗奉納者芳名

(令和三年五月一日～七月三十一日)

二本	新宿区	河西孝子
多摩市	小森靖久	
立川市	大森久美子	
練馬区	木口怜史	

## 千体地蔵尊 奉安者芳名

(令和三年五月一日～七月三十一日)

一、品名	マスク	一、品名	レンゲショウマ・六鉢
奉納者	国立市	奉納者	相模原市

湯野川るみ子  
(手作り)



奉納者  
吉原辰男  
(赤色京かのこ)  
町田市

吉原辰男

## お花講講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただけております。毎年秋季大祭大般若会（九月二十八日）に御招待（法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待）致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

### 御詠歌始めませんか

一、名 称 高幡山お花講  
一、会 費 一ヶ月 五〇〇円  
※入講は随时承っております。  
ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



## 『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

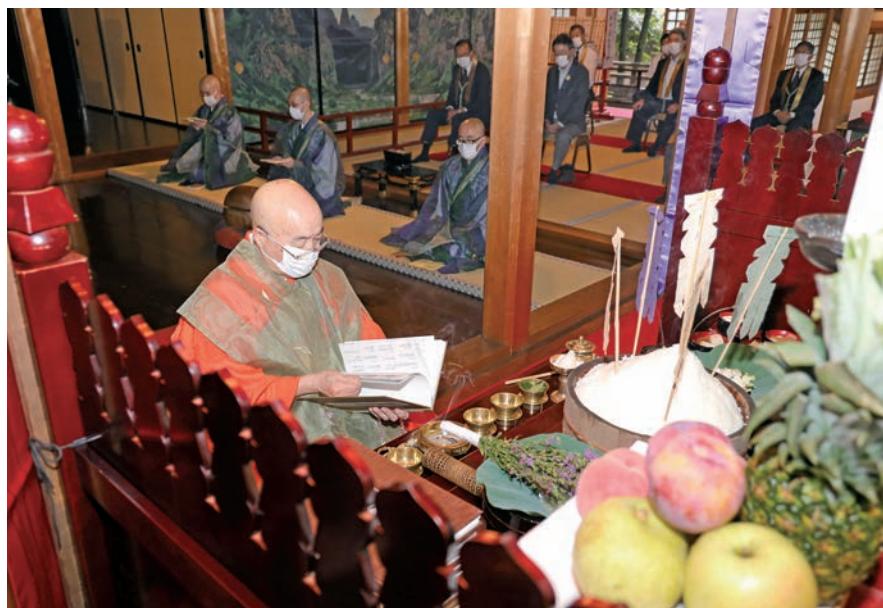
御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使つてお唱えする仏教歌で、彼岸会、萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

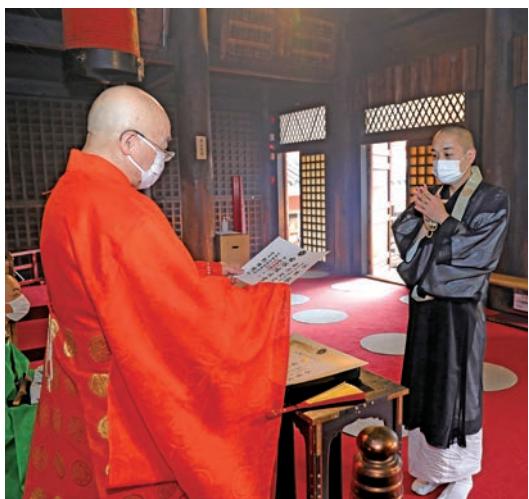
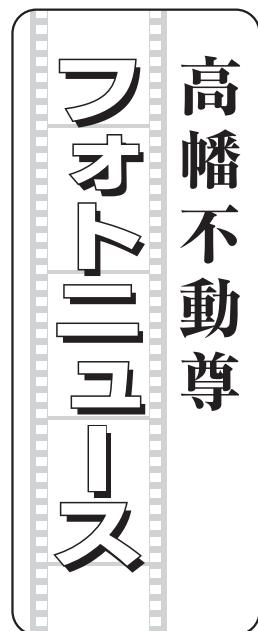
一、名 称 遍照講高幡山支部  
一、参加資格 どなたでもご参加いただけます  
一、指導 密厳流遍照講師範  
一、会 費 一ヶ月 三,〇〇〇円  
(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二～三回 午前十時～十二時  
問い合わせ先 高幡不動尊内遍照講高幡山支部  
電話 ○四二(五九一)〇〇三二一

海山こゆる  
かぎりも知らず  
うたわばや  
恩愛の  
はぐくみし  
尽きばや  
我が父母に  
〔四恩和讃〕



大施餓鬼法要 大日堂にて 8/15



高尾両山講新先達に委嘱状を授与 7/1



あじさいまつり写真コンクール審査 7/29



不動堂前階段工事～9月下旬まで



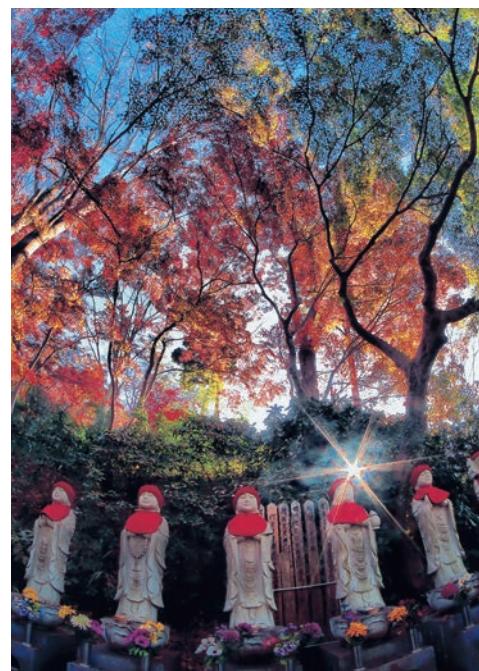
弁天池の蓮～今年も綺麗に咲きました



青葉まつり法要 6/15

奥殿の展示替えを行いました。  
金・胎大日如来像「あじさいが見守る八十八ヶ所巡拝結願」  
あじさいの部 銅賞 日野市 羽賀 道行

曼珠沙華 見頃は秋彼岸の頃です。

「あじさいと記念の写真撮ります」  
あじさいの部 銅賞 新座市 佐々木庄松「秋麗の六地蔵」  
四季の部 銀賞 海老名市 清水 進

## 秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

### ◇九月

- 12日(日) フリー・マーケット
- 19日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(火) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
- 24日(金) 千体地蔵尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(火) 秋季大祭大般若会 お花講總登嶺日

### ◇十月

- 10日(日) フリー・マーケット

- 17日(日) ござれ市(がらくた市)

- 21日(木) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶

- 24日(日) 千体地蔵尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

- 28日(木) 月例祭(縁日)

- 30日(土) ～11月7日(日) 文化財ワーキーク

- 十一月中 七五三祈願

- 8日(月) ～14日(日) 世界糖尿病デー

- 五重塔ブルーライトアップ

- 14日(日) フリー・マーケット

- 21日(日) ござれ市(がらくた市)

- 21日(日) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶

- 22日(月) 萬燈会

- 23日(祝) 花塚供養

- 24日(水) 千体地蔵尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

- 28日(日) 月例祭(縁日)

## 諸行事のご案内

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため諸行事を一部中止・縮小させていただきます。又、開催が予定されている行事も中止となる場合がありますのでご了承ください。

### 第五十回高幡不動尊菊まつり

十月二十八日(木)～十一月十七日(水) 開催

### 七五三・新生児祈願のご案内

お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

○ご修行時間 午前九時～午後四時  
○ご祈願料 金三〇〇〇円以上(お札・供物料含む)

### 世界糖尿病デー五重塔ブルーライトアップ

十一月八日(月)～十四日(日)  
(ライトアップのみ開催)

### 高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(木)～三十日(火) 開催  
(ライトアップ 十七時～二十時)



### 萬燈会・第十五回たかはたもみじ灯路

十一月二十二日(月)～二十三日(火) 中止  
(二十二日山内僧侶のみにて法要)  
※第十五回たかはたもみじ灯路は両日中止致します。

### 高幡写仏会

中止

## 大提灯ご奉納のお願い

当山では萬燈会・正月・大祭・節分等の行事の折、各所に大提灯をお飾り致しますのでご協賛の程お願い申しあげます。

尚、募集要項は左の通り

一、品名 萬燈会及び大祭用大提灯

(ご奉納者芳名入り)

一、募集数 五十基

一、志納金 金五〇、〇〇〇円

一、申込 当山事務局又は

宝輪閣受付

(ご連絡下されば申込書をお届け致します)



ご奉納いただいた大提灯

一部 一、〇〇〇円

「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ  
平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致しました。令和五年には弘法大師御生誕一二五〇年を迎えますのでお大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしようか。

※ご希望の方には郵送致します。  
(送料三〇〇円)



電話 ○四二一五九一—〇〇三三  
龍華会まで

## 「在宅写経」のおすすめ

高幡不動尊では檀信徒の皆さまにご自宅で出来る写経用紙をご用意しております。時節柄、ご自宅にいる機会が多い時に、ご自身の修養の為に写経を始められる事をおすすめします。

写経用紙 一巻 二、〇〇〇円 (送料 三〇〇円)

写経用紙を郵送でご希望の方は、電話又はファックスで高幡不動尊事務局までご連絡下さい。写経用紙と一緒に払込取扱票を同封しますので、郵便振込でお支払い下さい。振込手数料は無料です。(複数巻ご希望の方は電話にてご連絡下さい)

電 話 ○四二一(五九一) 〇〇三二  
ファックス ○四二一(五九三) 三〇三八

※ファックスでお申し

込みの方は、当山のホームページから申込書を印刷してご利用下さい。

※書き終わりました写経用紙は、当山にご返送下さい。写経用紙は当山のご本尊・不動明王様の御宝前にご奉納させていた



# 御護摩札郵送のご案内



大護摩札	中護摩札	護摩札	護摩札	懐中札	交通安全祈願札
30,000円以上	10,000円	5,000円	3,000円	3,000円	3,000円
送料 800円	送料 800円	送料 600円	送料 400円	送料 300円	送料 300円
長さ 58cm	長さ 52cm	長さ 45cm	長さ 37cm	長さ 11cm	長さ 15.5cm

当山では御護摩札の郵送による授与も受け付けております。

郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願ひ事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はFAXでお申し込み下さい。御札が届きましたら、同封の払込取扱票（郵便局）にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡733番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等でのお申し込みは受付しておりません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります。

## 弘法大師八十八軀碑 お詫びと訂正

山報第一一五号「弘法大師八十八軀碑」の記事中、梵字「モ（モニ）」とすべき所を「モ」と記載しておりました。ここに訂正しお詫び申し上げます。

「モ」は弥勒菩薩を表す種字・梵字です。お大師さまと弥勒菩薩の関係を端的に示す文章が、当山大師堂の両脇の柱に掛けられています。向かって左に「都卒天上帝慈氏之下生」と書かれています。その内容は「お大師さまは、私たち衆生が苦しんでいるさまを見て哀れみ悲しんで、常に私たちに救いの手を差し伸べておられます。そして今、お大師さまは都卒天に往生され、



曼珠沙華 見所は山頂馬場付近です

## 山主の主な動静

6/15 青葉まつり法要・成田潤徳小評議会・7/15 盟蘭盆会	6/18 山大阪別院明王院主監飯島照輝大和尚本葬・6/21 仁和会総会（京プラ八王子）・7/5 法要・7/16 観光協会会議・8/15 盟蘭盆会大施餓鬼法要
---------------------------------	--

何時の日か慈氏（弥勒菩薩）が地上に現れて全ての衆生をお救い下さる時を待つておられます」というほどのお意味です（山報第五三号「お不動さま救えて？」より）

再掲）

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

本年は六七三名の方にご解答いただき、全問正解は五六三名でした。参加された皆様の感想が寄せられていますのでご紹介いたします。

町田市 鷺野 均美 と思いました。ありかとうございました。  
毎年あじさいまつりを楽し  
みにしています。今年は開催  
されました。

横浜市 橋 光江 と思いました。  
されると知り、早朝から参り  
ました。

今年も変らず咲き満ちた四  
葩明りの中、八十八ヶ所巡り

山を歩きながら心が洗われていくようで本当に有難いです。日々の疲れが癒されました。ありがとうございました。

はじめに来ました。番号を世田谷区 水谷みつこ

追い掛けしていくので、わかりやすい。問題も時々頭を使うので足にも頭にもよい刺激に

もんだいが、たのしかつた。もつとたくさんクイズがしたかった。さら6さい。

澄んだ夏うぐいすの声に座され、コロナ禍を忘れる心の安らぎを賜りました。心よりお礼申し上げます。

なりました。地図!! ありがとうございました。  
立川市 松田 克美  
健康維持の為に八十八ヶ所

上尾市 山下 智子 めぐりをしています。長く  
初めてお参りさせていただ けて行こうと思います。  
きました。伽藍もすばらしく コースの最後の方に木の柱  
色々と勉強させていただきま 越しに聖天堂と大師堂の屋根  
した。鳴り龍も感動しました。 を臨む所があり、美しいなと  
思ひます。

大田区 市川 千賀  
けつこう歩きますが、運動会  
來ました。秋にも是非来たい  
イズをしながら楽しく散策出

になつて健康に良さそうで楽しかつたです。クイズめぐりで一つ一つ探しながら数えて答えていくのが更に楽しめました。あじさいは満開ではなかつたけれど綺麗でかわいいでした。あじさいがたくさん見れて癒されました。

日野市 齋藤 泰之

巡査中に四歳の息子が転落しましたが、間一髪頭を打たずには済みました。お大師様が守つてくださつたのだと思ひます。私と妻は程よい疲れと達成感で楽しく過ごせました。ありがとうございます。

江東区 姜 国浩

府中市 飯田ミドリ

クイズめぐり面白かつたです。自然と文化と人をつなぐ良いアイデアだと思います。

世界中の人たちがコロナに勝つて、平和で穏やかな日當を一日でも早く取り戻せる日が来ますように、祈りをこめて……。

朝霞市 平野 剛玄

目印の何もない山登りはしんどさが先立ちがちだが、順

巡回中に四歳の息子が転倒しましたが、間一髪頭を打たずに済みました。お大師様が守つてくださったのだと思ひます。私と妻は程よい疲れと達成感で楽しく過ごせました

江東区 姜国浩

良いアイデアだと思います。

うで頂き 心が清く洗われた  
気持ちになりました。

世界中の人たちがコロナに勝つて、平和で穏やかな日當を一日でも早く取り戻せる日が来ますように、祈りをこめて……。

朝霞市 平野 岡玄  
目印の何もない山登りはし  
んどさが先立ちがちだが、順

人生と同じ様なものかもしれないと思いつつ巡りました。

金平糖

づきました來ました。

② 楽彩遊標ノ源流 教えをうけとめる弟子の集まりは?

師様ゆかりのお寺があるので調べて行つてみようかと思います。それだけお大師様は全

(30) 日野市の花は？

国を旅したのですよね。同じ苦労をしてみます。

<sup>(40)</sup> 土方歳三の小姓・市村鉄之助が日野に届けたのは?

立川市 佐藤香代子  
初めて山内八十八ヶ所巡り  
をしました。たくさんのがじ

⑤ 来年より義務化予定の富士「歳三の肖像写真」

さいに囲まれ、あつという間に達成できました。

山の入山料は?  
「1000円」

中 退場でノ旅行した隻分も  
味わうことができ嬉しかった

前島密

です。次は秋に紅葉を見ながら、もう一度めぐつてみたいのです。

⑧弘法大師を嵐から救つたお<sup>88</sup>  
「西武ドーム」

山内八十八ヶ所めぐり  
クイズの正解

# 第三十七回あじさいまつり

## 短歌大会

今大会は三〇〇首の応募があり、四名の先生方に各五十首選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。

選者は次の先生方です。(敬称・肩書略・五十音順)

大河原惇行・狩野一男・長澤ちづ・松坂弘の諸先生

### 第一位

あぢさゐの 花を縫ひ込む 如く降る

高幡不動の 絹糸の雨

世田谷区 長谷川 瞳

### 第二位

あぢさゐは 哀しみの色 水のいろ

少し艶めく 通夜の灯りに

府中市 渡辺喬子

### 第三位

余命知り 写経三百 託す義父

高幡不動へ 我が納めたり

板橋区 伊藤恭一郎

### 第四位

秋櫻子

逝きたるけふは 紫陽花忌

人々は 収まる願ひ

高幡の径 歩み偲べり

板橋区 伊藤恭一郎

### 第六位

感染の

息が作りたる

人々は 収まる願ひ

大きマスクを 仁王にかけて

八王子市 坂本由子

### 第七位

見越しの花と

ワクチン接種 讀へむか

全うせむよ 六地蔵

わねの残世 光江

世田谷区 田村悦子

### 第五位

紫陽花を

二回目終はる

八王子市 千明 武紀

### 第十三位

あぢさゐを

閉ざされし

鐘楼堂の白壁に

やさしく揺る影

横浜市 橋 光江

### 第十九位

紫陽花は

花びら白く

色を変えゆく

濡れた体で

多摩市 佐藤昌喜

### 第二十四位

紫陽花は

咲き揃い

示寂の足音

消ゆることなし

武藏村山市 松永昇三

### 第八位

降魔殿に 不動明王 拝めば

らふそくの火のまばばと 搖らぐ

国立市 花町淳一

### 第九位

年々を 面差し変えぬ 六地蔵

木もれ陽の元 われを迎うる

日の出町 宮田美子

### 第十位

早咲きの あぢさゐあはく

園に球児の

杉並区 坪井真里

### 第十一位

卒寿過ぎ 農に終止符 打ちにしが

息が作りたる

野菜見に行く

日野市 大野綾子

### 第十二位

全山に 咲くあぢさいを 見てをりぬ

石段くだる

国分寺市 越前 春生

### 第十三位

紫陽花は

ひとりごと

川崎市 大木かづ子

### 第十八位

石段くだる

わが独り言

川崎市 大木かづ子

### 第十四位

しばらくは 咲く気配なき あぢさいに

金色の蜘蛛は 手足伸ばせり

調布市 石川淳子

### 第十五位

大き足の 涡乾きたる 仏足石

武藏野市 藤井徳子

### 第十六位

お不動さまの 蓮の台座に ぬくもりをもつ

伊勢原市 黄金井春男

### 第十七位

あぢさい二輪 しおびつつ庭の しおびつつ庭の

東大和市 石川るみ子

### 第十八位

母を追ふ まだいとけなき 男の子ゐて

多摩市 中道操

### 第十九位

緑陰に 咲く紫陽花の ひとりごと

川崎市 大木かづ子

### 第二十位

梅雨の晴れ間の花 梅雨の晴れ間の花

日野市 中道操

### 第二十一位

青きあぢさい つけきてあそぶ こもごもに

大田区 石井美登理

### 第二十二位

池に映る 静かに咲きし

伊勢原市 黄金井春男

### 第二十三位

緋鯉真鯉が つつきてあそぶ

大日堂 高嶋肇

### 第二十四位

四葩寄り添ふ 青きあぢさい

日野市 笹木久男

### 第二十五位

石畠 あぢさゐは

武藏村山市 松永昇三



# 第三十七回あじさいまつり

## 写真コンクール

二年振りの開催となつた今回は総数一三九五点（あじさいの部八七七点、四季の部五一八点）の作品を応募いただき、七月二十九日に審査会が行われ、合計一〇七点が入賞しました。入賞作品は九月二十八日まで五重塔千体堂に、三十日から十月五日まで京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターA B館五階プリツジギャラリーに展示します。

### 上位入賞者

#### （あじさいの部）

金賞	日野市 橋本昌利	（次頁掲載）
銀賞	調布市 北野修	（下段掲載）
銅賞	日野市 野村芳恵	（下段掲載）
金賞	新座市 北野乾	（次頁掲載）
銀賞	日野市 松明雄	（次頁掲載）
銅賞	八王子市 佐々木恵	（次頁掲載）
金賞	八王子市 篠山利彦	（次頁掲載）
銀賞	八王子市 佐藤英行	（次頁掲載）
銅賞	八王子市 佐藤昭彦	（次頁掲載）
金賞	立川市 小渡原設天清新	（下段掲載）
銀賞	相模原市 海老名市 調布市	（本号五頁掲載）
銅賞	日野市 日野市	（四年三月号掲載）
金賞	本森小渡原設天清新	（本号五頁掲載）
銀賞	沢松池辺田楽池水井	（四年六月号掲載）
銅賞	七幹基武恵誠信進	（四年六月号掲載）
金賞	朗治夫彦一夫	（四年十二月号掲載）
銀賞	八王子市 八王子市	（三年十一月号掲載）
銅賞	立川市 文京区	（次頁掲載）



「七五三」  
四季の部 金賞  
調布市 新井 利彦



「彩」  
あじさいの部 銀賞  
調布市 北野 修



「紫陽花鑑賞会」  
あじさいの部 銀賞  
調布市 北野 芳恵



「雨の供養塔」  
あじさいの部 金賞 日野市 橋本 昌利



「賑わう元旦の不動尊」  
四季の部 銅賞 八王子市 原田 恵一



「ハイ ピース!!」  
あじさいの部 銅賞 日野市 野村 明雄



「不動ヶ丘夕景」  
四季の部 銅賞 立川市 本沢 七郎



「水たまり～梅雨」  
あじさいの部 銅賞 日野市 小山 乾



## 高幡いきもの曼荼羅 ⑯

コロナウイルス感染の終息が見えてこない今、私達は以前と同じような生活が送り難くなりました。ただ変化したのはその点だけで、周りの自然環境までが変ってしまった訳ではありません。暖かくなれば花々と共に、生き物たちが活動的になります。ちょっと視点を変えるだけで、遠くに出掛けなくても、その息吹を目の当たりにする事が出来るのです。

例えば足元の草花にレンズを向けてみると、小さな生命が懸命に活動していることに気付きます。

日頃通り過ぎてしまうような場所ですら豊穣な生命に満ちている事に驚かれます。更に小さな草花たちもクローズアップしてみると、意外な美しさを秘めていることに気付かされます。

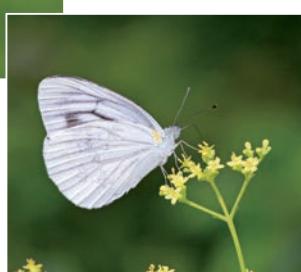
いろいろと制約が多い今だからこそ、自身の足元に目を向けて、身近な自然に親しんでみてはいかがでしょうか。自由とは今ここにあるのです。



オオイヌノフグリとウキチヨウ



ホトケノザと名も知れぬ昆虫



オミナエシに停まるモンシロチョウ

### なにげなくつかつて いる仏教のことば——大袈裟（おおげさ）

大袈裟とは、物事を實際より誇張していたり、普通より程度をこえているようすをあらわすことばです。

袈裟とは、僧侶が右肩をらわにしてまとうものです。このことばはサンスクリット語のカシヤーシャの音写語で、

赤褐色（または黄褐色）の意です。お釈迦さま時代の印度では、修行者は捨てられた布切れを集めてつなぎあわせた外衣を着ており、その色がきたない赤褐色であったこと

によります。

大袈裟とは、物事を實際により、一部、華美なものへと変化が生じました。これが大層で大仰なものであつたこと

にしましよう。

最初は《托胎》のレリーフです。

托胎とはお釈迦さまが自分が生まれるのにふさわしい家系を見定めて、母胎に宿ることです。

レリーフでは、シャカ国（シユッドーダナ王）の妃であるマーヤー（摩耶夫人）

（小林靖典）

によると、気候風土や衣服の慣習により、一部、華美なものへ

から

して

いくこと

にしましよう。

最初は《托胎》のレリーフです。

托胎とはお釈迦さまが自分が生

まれるのにふさわしい家系を見

定めて、母胎に宿ることです。

レリーフでは、シャカ国（シ

ユッドーダナ王）の妃

であるマーヤー（摩耶夫人）

### お不動さま教えて？

り、その足もとには三人の侍女

がかしづいています。そして、上方から象（六本の牙をもつ白

象）の姿をしたお釈迦さまが兜

率

天

から降り、いままさに現世

での母となるマーヤーの胎内へ

がありました。その中のいくつ

かについては、なんとなく内容

が理解できたのですが、わから

ないものがありました。

そこでこのレリーフについて、

どうかお不動さま教えてください。

お答え

はい、お答えいたしま

す。五重塔地

下の休憩所に

はお釈迦さま

のご生涯のレ

リーフが十六

枚掲げられて

います。それ

では《托胎》

のレリーフか

ら順にご説明

していくこと

にしましよう。

最初は《托胎》のレリーフです。

托胎とはお釈迦さまが自分が生

まれるのにふさわしい家系を見

定めて、母胎に宿ることです。

レリーフでは、シャカ国（シ

ユッドーダナ王）の妃

であるマーヤー（摩耶夫人）

といふもので

す。

（次号につづく）



胎

この七仏が共  
通戒偈なる詩  
があります。す  
なわち、  
諸惡莫作（あら  
ゆる悪しきこと  
めること）  
是諸仏教（これ  
が諸仏の教え  
である）

を作さず  
衆善奉行（あら  
ゆる善きこと  
を行ひ）  
自淨其意（自己のこころを淨  
めること）

**映画「燃えよ剣」(十月十五日公開)  
衣裳展示  
(十月一日～十七日)  
(於、五重塔塔院大ホール)**



映画「燃えよ剣」の公開を記念して衣裳の展示を行います。映画の原作は歴史小説の巨著・司馬遼太郎。新選組副長土方歳三を主人公に、新選組の志士たちの知られざる人生と、彼らが生きた激動の時代

幕末を描いた「燃えよ剣」。監督を務めるのは「検察側の罪人」「関ヶ原」「日本のいのちばん長い日」等の力作を生み出してきた名匠・原田眞人。主人公・土方歳三を演じるのは、今や国民的俳優の岡田

准一。他に柴咲コウ、鈴木亮平、山田涼介、伊藤英明など豪華俳優陣が出演。

史上最強の剣客集団「新選組」と副長・土方歳三の知らぬ出でてきた名匠・原田眞人。主人公・土方歳三を演じる岡田准一は、今や国民的俳優の准一。

准一。他に柴咲コウ、鈴木亮平、山田涼介、伊藤英明など豪華俳優陣が出演。

**御◆案◆内**

交通安全祈願

午前九時～午後五時

午後四時半までにお申込下さい

○ご祈願料 金三、〇〇〇円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・十一時半・十二時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日 八時・十時・十一時半・十二時半・一時・二時半・四時

○但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

○ご縁日(二十八日) 五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(二十九日) 金五、〇〇〇円也

○御護摩料 金一〇、〇〇〇円也

○ご縁日(三十日) 金参万円以上

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(三十一日) 金五、〇〇〇円也

○御護摩料 金一〇、〇〇〇円也

○ご縁日(三十二日) 金三、〇〇〇円也

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(三十三日) 金三、〇〇〇円也

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(三十四日) 金三、〇〇〇円也

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(三十五日) 金三、〇〇〇円也

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

○ご縁日(三十六日) 金三、〇〇〇円也

○御護摩料 金三、〇〇〇円也

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

拝観料 三〇〇円  
大日堂 鳴り龍・襖絵拝観  
午前九時～午後四時  
参拝料 二〇〇円  
(月曜休館)

**編集室だより**

曆の上では白露の時季で秋めく頃ですが、世界的な異常気象、コロナウイルスの拡大等々、日常生活が脅かされ心配です。緊急事態宣言の再発出によりお堂の入堂制限、山内職員のワクチン接種の推進、感染予防に努めているところです。写真コンクール入選作品の見事な紫陽花の写真を掲載しました。枯れ枝切り、肥料撒きなど一年を通して開花の準備をしております。来年もどうぞお楽しみください。

発行所	〒191-0031 東京都日野市高幡733
別格 本山	高幡山金剛寺
電話	(042)591-0032(代)
FAX	(042)593-3038
発行人	黒川高徳
編集人	
年4回発行・再生紙使用	